

令和 8 年度第 3 回岩手県公共事業評価専門委員会

現地調査資料

■ 日 時

令和 8 年 8 月 18 日（火） 14：50～15：30

■ 調査開始時刻及び調査対象事業

調査開始時刻	調査対象事業
14：50	都市計画道路整備事業 都市計画道路上野西法寺線 高善寺（一戸町）

■ 資料一覧

資料 No. 1 現地調査行程表

資料 No. 2 現地調査地区位置図及び説明資料

参考資料 令和 8 年度第 2 回岩手県公共事業評価専門委員会の審議概要

岩手県公共事業評価専門委員会委員名簿(五十音順)

氏 名	職	専門分野	備 考
阿 部 伸 史	日本公認会計士協会 東北会岩手県会	企業会計	
伊 藤 幸 男	岩手大学農学部 教授	林政学	副専門委員長
迫 井 裕 樹	八戸工業大学工学部 教授	土木材料 施工	欠席
谷 本 真 佑	岩手大学理工学部 准教授	交通計画 地域計画 防災計画	欠席
松 林 由里子	岩手大学理工学部 准教授	海岸工学 水工学	
武 藤 由 子	岩手大学農学部 准教授	農業土木	専門委員長

(敬称略)

令和8年度第3回岩手県公共事業評価専門委員会 現地調査行程

○開催日：令和8年8月18日（火）

○対象事業

都市計画道路整備事業 都市計画道路上野西法寺線 高善寺（一戸町）

○行程

		0:05				0:40				0:05	
始		移動時間 0:10	着	13:25	移動時間 1:10 (1:20※)	着	14:50	移動時間 1:20	着	16:50	
県庁			盛岡駅			一戸町			盛岡駅		
正面玄関前						現地調査					
出発			(西口バス ターミナル付近)			高善寺			(西口バス ターミナル付近)		
発	13:15		発	13:30		発	15:30		発	16:55	
				※現地調査 地区に到着 後、10分休 憩				岩手山SAで 10分休憩			

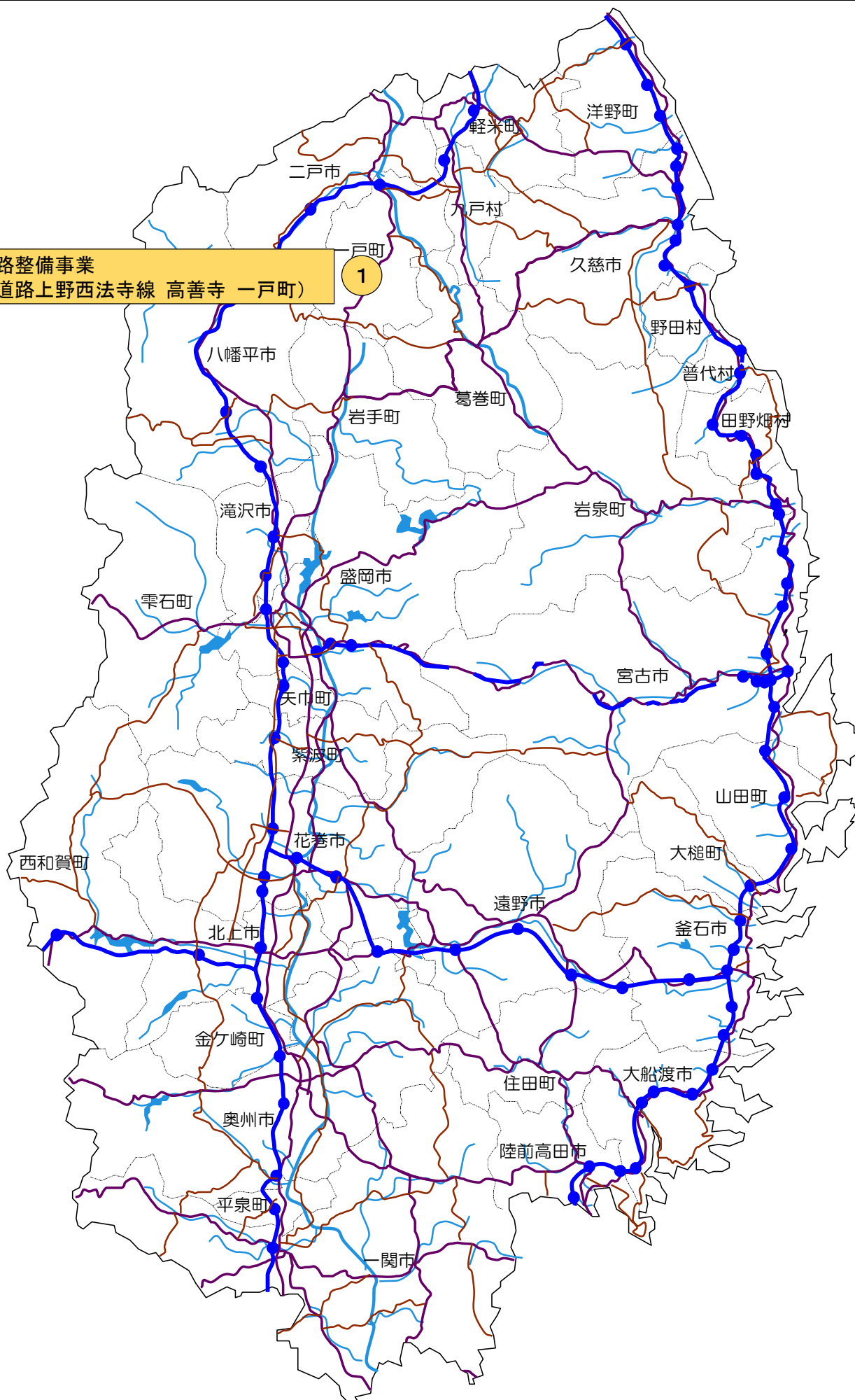
※現地調査
地区に到着
後、10分休
憩岩手山SAで
10分休憩

移動時間 0:10	着	17:05
	県庁	
	正面玄関前	
	帰庁	
	終	

◎時間は現時点での目安であり、交通状況等により変更になる場合があります。

令和8年度第3回岩手県公共事業評価専門委員会現地調査地区 位置図

都市計画道路整備事業
(都市計画道路上野西法寺線 高善寺 一戸町)



公共事業再評価

【第3回専門委員会現地調査資料】

都市計画道路整備事業

都市計画道路上野西法寺線

うわの さいほうじ

高善寺

こうぜんじ

令和8年8月18日
県土整備部 都市計画課

●事業全体図(一戸都市計画道路網)

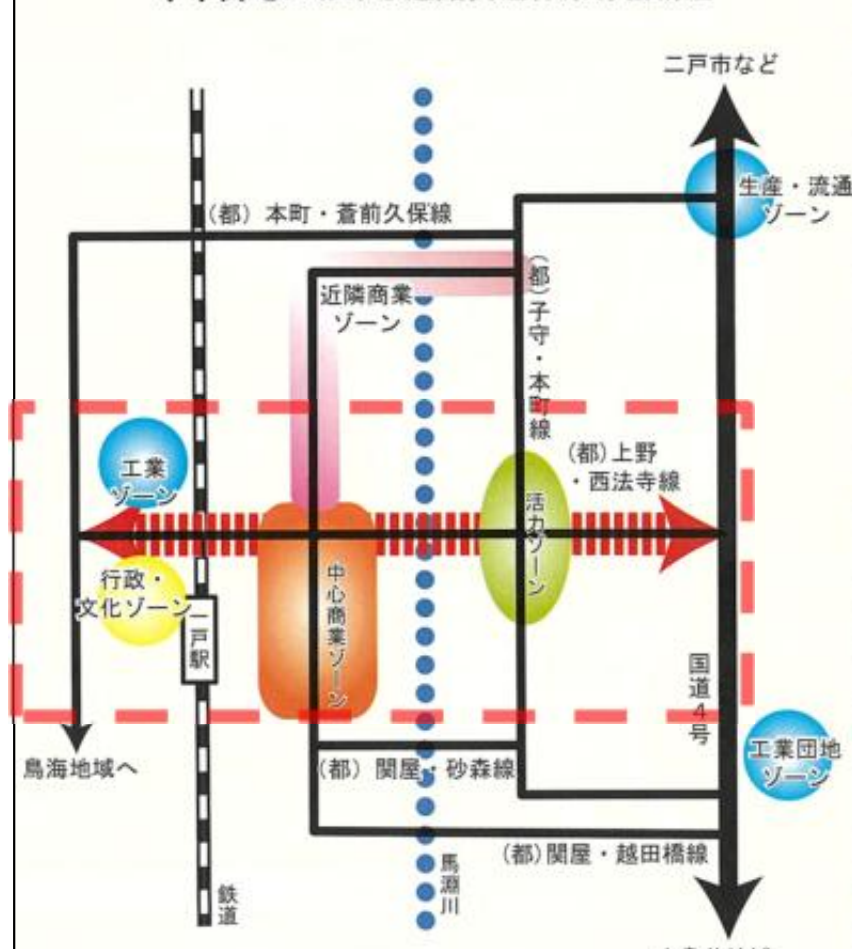
【一戸都市計画道路の決定一覧(令和7年3月31日時点)】

市町村名	番 号	路 線 名	計 画 決 定			当初決定 年 月 日	最終変更 年 月 日
			車線数	幅員 (m)	全体延長 (km)		
一戸町	3・4・1	上野西法寺線	2	17	2.20	S54. 6. 22	H28. 12. 16
	3・4・2	子守本町線	未	17	2.24	S54. 6. 22	H 8. 6. 14
	3・4・3	関屋越田橋線	未	17	3.60	S54. 6. 22	H 8. 6. 14
	3・4・4	本町蒼前久保線	2	16	0.69	S54. 6. 22	H28. 12. 16
	3・4・5	関屋砂森線	未	16	0.53	S54. 6. 22	H 8. 6. 14
	3・5・6	子守大越田線	未	12	5.37	S54. 6. 22	H 8. 6. 14

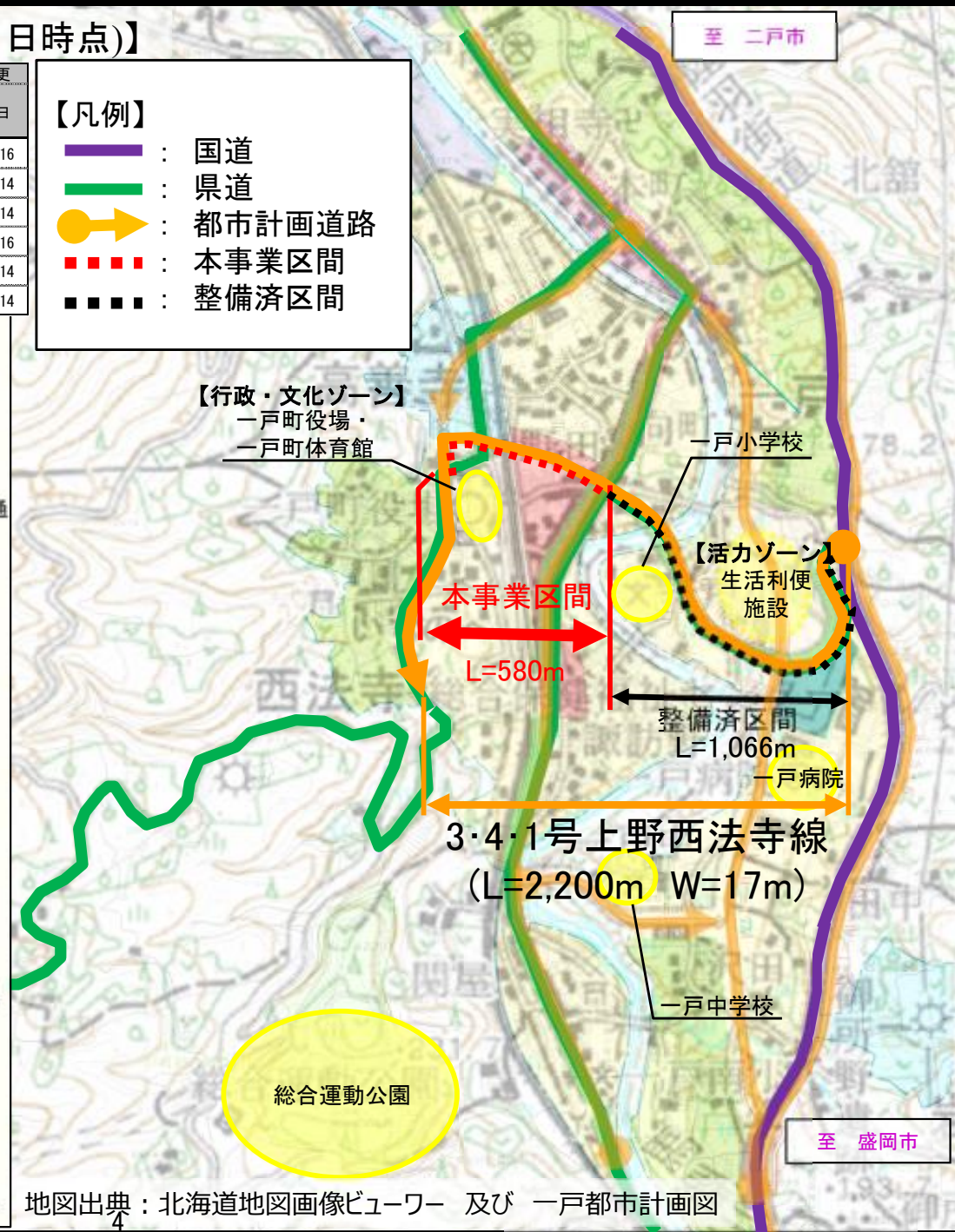
【凡例】

- : 国道
- : 県道
- : 都市計画道路
- : 本事業区間
- : 整備済区間

◆市街地における道路交通体系骨格構造

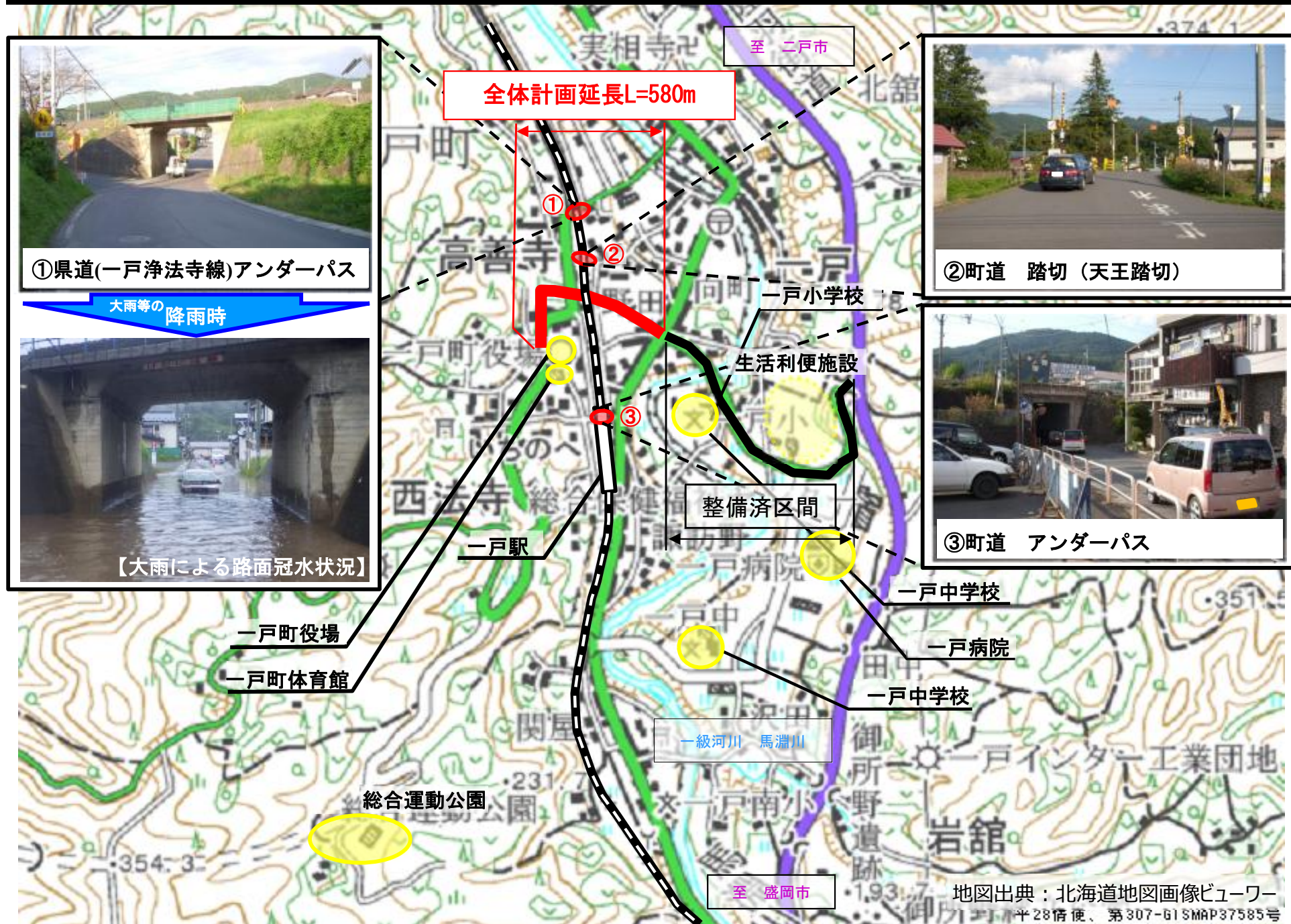


出典：一戸町都市計画マスタープラン(平成16年4月) 山地域などへ



地図出典：北海道地図画像ビューワー 及び 一戸都市計画図

●事業全体図(周辺状況)



●計画平面図(都市計画道路整備事業 都市計画道路 上野西法寺線 高善寺)

平面図



令和8年度第2回岩手県公共事業評価専門委員会（都市計画道路整備事業 都市計画道路上野西法寺線 高善寺）の審議概要

質疑等の概要		
専門委員からの質疑等		事業担当課等の対応（回答）
①	第1回専門委員会 今回の事業で踏切を新たに設置するということか。	【都市計画課】 そのとおり。町道が平面交差している既存の踏切を廃止し、新たに県道に踏切を設置するため、踏切の個数自体は変わらない。
②	第1回専門委員会 それによって交通は改善されるのか。	【都市計画課】 現在の町道の踏切は、幅員が狭く、大型と普通車両のすれ違いが困難となっている。本事業によって幅員が広くなるため、円滑な交差が可能となり、交通の便は良くなると考えている。
③	第1回専門委員会 開かずの踏切になる可能性はないか。	【都市計画課】 現状、IGR の運行間隔は概ね 30 分に1本であり、朝方の時間帯でも上下線ともに列車の通過には 10 分以上の間隔があるため、その懸念は小さいと考えている。
④	第2回専門委員会 代替案で一戸町のマスタープランを引用していただいております重要な路線であると分かるが、市街地から主に役場方面、総合運動公園等に向かうルートとして多くの人に使われているということか。	【都市計画課】 国道4号側に市街地や病院などがあり、IGR を挟んで西側には役場や公共施設がある。それらを結ぶ路線ということで重要な位置付けとなっている。
⑤	第2回専門委員会 徒歩での通行についても考慮しているのか。	【都市計画課】 車道の整備だけではなく、歩道も両側に整備する計画としており、歩行者の安全も確保する計画としている。
⑥	第2回専門委員会 避難にも使える安全な道路か。	【都市計画課】 IGR 自体がかなり高いところにあり、今回整備する道路も約 1.5mかさ上げをした上で IGR 側へ向かっていく計画としている。周りの地盤よりも高いため、浸水の恐れはかなり軽減された計画となっている。
⑦	第2回専門委員会 信号はどこにつけるのか。	【都市計画課】 現在整備している区間については、交差する主要な道路がないため、信号を設置する予定はない。

⑧	第2回専門委員会 踏切築造工事に係る分岐器の移設内容変更によって778百万円増額しているが、このくらい費用がかかるものなのか。	【都市計画課】 踏切は、形状や設備によって費用が変わり、今回よりもさらに高額となるものもある。本事業は、踏切自体が広くなることや機器を多く移設する必要があるため、費用が高くなっている。
---	---	---